

会報

社会参加で生きがいづくり

さいたまシルバー



目次

「埼玉スタジアム2002」

- 新年のご挨拶..... 2～3
- 事業実績..... 4～5
- 各種講習・研修会..... 6～7
- 就業会員の声..... 8～9
- 発注者の声..... 9～10
- 地域班活動・親睦互助会..... 11～13
- 区民まつり・ボランティア活動..... 14
- 事故取扱基準について..... 15
- いきいきセカンドステージ・編集後記..... 16

第31号

2017.1.1

迎春



公益社団法人 さいたま市シルバー人材センター

〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1

さいたま市大宮ふれあい福祉センター 内

Tel:048-669-0303 Fax:048-669-0305

ホームページ: <http://saitama-sjc.or.jp/>



新年のご挨拶

公益社団法人 **さいたま市シルバー人材センター**

理事長 **佐伯 鋼 兵**

新年、明けましておめでとうございます。

会員の皆様並びに、センター事業に広くご支援・ご協力を賜っております関係者の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素から、センター事業につきまして多大なるご尽力とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

平成20年度から減少を続けてきた当センターの事業実績につきましては、平成27年度には、会員数以外は増加となりました。契約金額も7年ぶりに増加をしました。よう

やく回復の傾向にあるものと考えております。これもひとえに会員の皆様並びに関係者の皆様のご尽力とご協力によるものと重ねて感謝いたします。

一方、会員数につきましては、平成24年の高齢者雇用安定法の改正による65歳雇用延長の導入などもあり、当センターの入会者が減少し会員の高齢化も進んでおります。

これを踏まえ、新たな会員増強の取り組みとして、昨年より、さいたま市自治会連合会の協力を得て、チラシの回覧、ポスターの掲示を実施しました。さらに、シニアユニ

バーシティ、シルバーバンクとの三者連携による「いきいきセカンドステージ」に参加し、センター事業の周知に努めました。また、入会説明会については、休日開催や女性を対象に開催するなど会員増強を図りました。

さらに、新たな事業展開は、平成27年に労働者派遣法が改正されいわゆる「三年問題」が解消されたことにより、昨年は就業開拓員を設置し、「シルバー派遣事業」の強化を図ったところです。これにより多くの会員の皆様の就業機会が拡充につながるものと期待しております。

安全・適正就業の推進については、本年4月より事故取扱基準が施行されます。「就業事故ゼロ」を合言葉に、その未然防止と再発防止を目指して役職員が一丸となり取り組んでまいります。会員の皆様には、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様並びにご家族の皆様のご健勝とご活躍、また新しい年が皆様に幸多き素晴らしい一年となりますことを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。





新年のご挨拶

さいたま市長 清水 勇人

新年、明けましておめでとうございます。

シルバー人材センター会員の皆様をはじめ、関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。日頃からさいたま市シルバー人材センターの皆様方には、市政全般にわたる格別のご協力とご支援を賜り、感謝とお礼を申し上げます。

さて、さいたま市は昨年、人口128万人に達し、全国の政令指定都市中3位の増加数となりました。また、企業の進出も進み、10年間で企業本社が112社増加しています。また、市民意識調査では、

住みやすい83・2%、住み続けたい84・6%と、ともに8割超の方に住みやすい、住み続けたいと感じていただいております。

私は、「しあわせ倍増プラン」の各事業や、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年までに市民満足度90%以上を目指す「CS90運動」を通じて、市民の皆様一人ひとりが幸せを実感できるさいたま市を目指して取り組みを進めてまいりました。また、急速に進みつつある高齢化に対しては、「行財政改革推進プラン」による、徹底した行財政改革や、施設の老朽化に対応する「公共施設マ

ネジメント計画」により、先手を打った対策を進めてまいりました。

また、一方で、さいたま市の一層の成長・発展のため、大宮駅・さいたま新都心駅周辺や、浦和駅周辺のまちづくりを推進するとともに、北海道、東北、上信越、北陸といった東日本の各地域との連携を進めてまいります。

会員の皆様には、市有施設の管理や空き家対策等、様々な取り組みにご協力をいただいておりますが、現在、準備を進めており本年4月にスタートを予定している「介護予防・日常生活支援総合事業」の構築に向けて、シルバー人

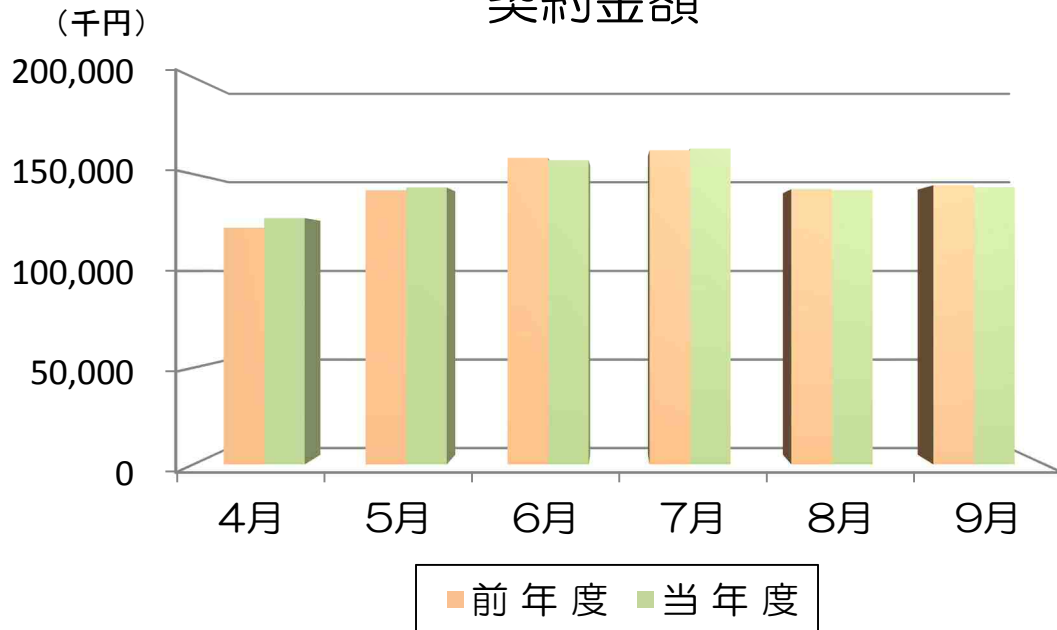
材センターの重要性は、益々高まるものと考えております。今後、支え合いの地域社会づくりのためには、シルバー人材センターのご協力は欠かせないものと考えております。どうぞ、会員の皆様のお力添えをお願いいたします。

健康寿命を伸ばし、多くの市民の皆様が、健康で長生きをし、生きがいをもって過ごして行ける地域社会を、皆様と作り上げて行きたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、新しい年が、シルバー人材センターの会員の皆様方にとり、より佳き年となるとともに、会員の皆様がますますお元気でご活躍されることを、心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

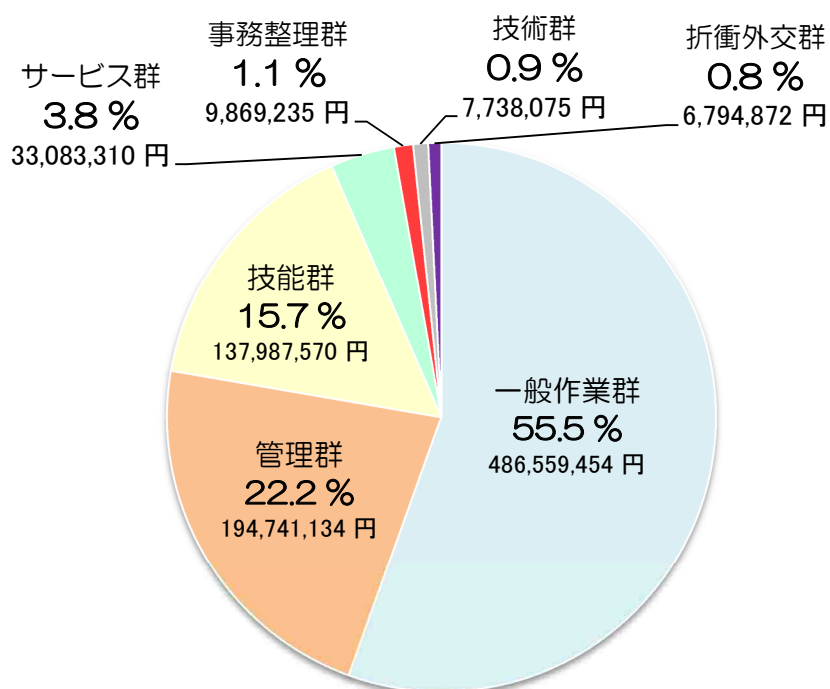
平成28年度上半期実績

契約金額



昨年度と比べ、契約金額は0.5%増となっております。

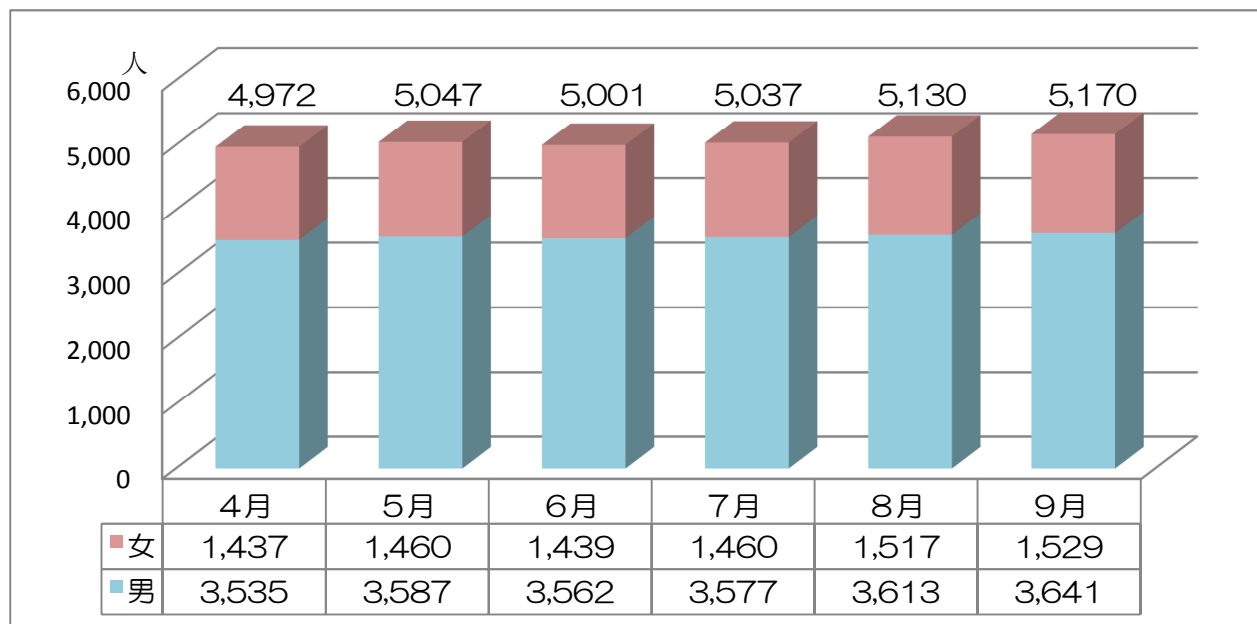
職群別契約金額実績



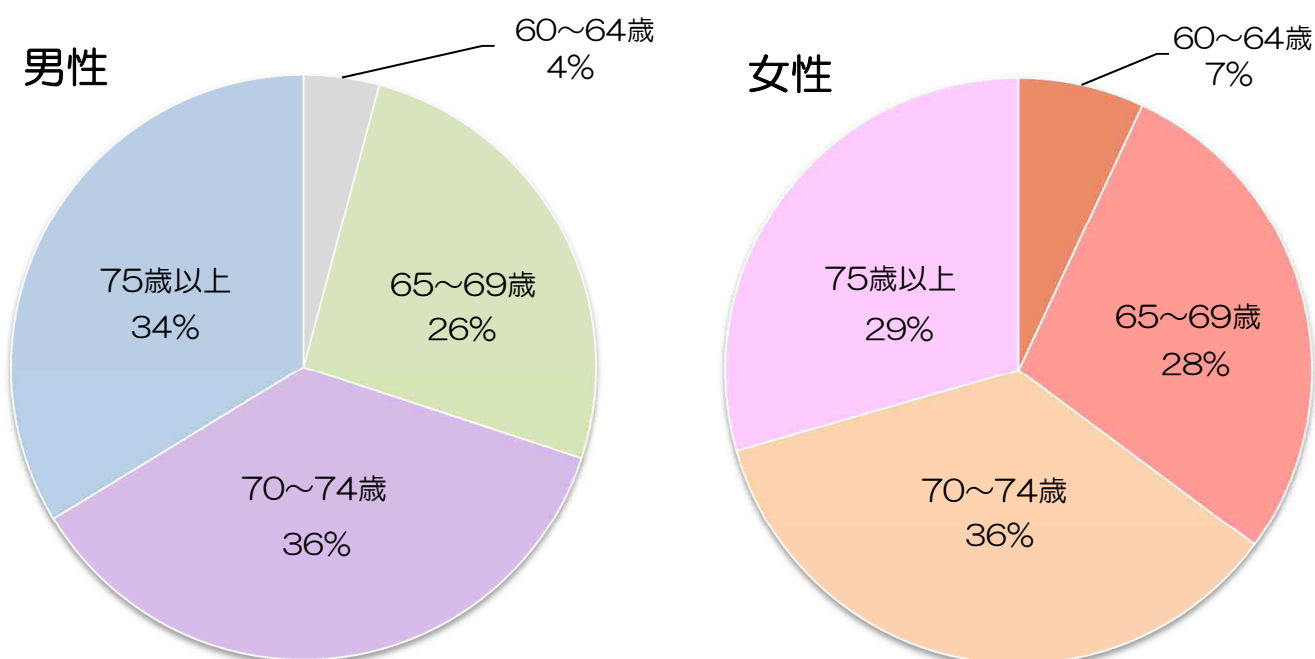
センターで最も実績の多い職群は、屋内外清掃や除草・草刈りなどの一般作業群で約55%を占めています。次いで駐輪場・駐車場管理などの管理群が約22%となっています。植木剪定や襖張りなどの技能群は3番目に多い職群となっています。

4月～9月までの会員数と構成比

男 女 別 月 別 会 員 数



男女別年齢別構成比（平成 28 年 9 月末現在）



男女とも最も多い年齢層は 70～74 歳で、全体の平均年齢は 72.8 歳です。

各種講習・研修会

次のような講習や研修が、本年度上半期に実施されました。

会員研修・講習

シルバー人材センター主催の会員を対象とした技能及び資質向上を図る講習並びに研修です。

① パソコン研修

第1回 初めてのパソコン

5月25日～27日 17人参加

会場・与野事務所

第2回 ワード入門

6月27日～29日 19人参加

会場・与野事務所

第3回 エクセル入門

9月5日～7日 17人参加

会場・大宮事務所

② 植木職人養成安全研修

6月17日～27日 56人参加

会場・浦和事務所
障害者交流センター



③ 刈払機取扱い安全研修

7月5日 24人参加
会場・七里総合公園



④ 安全講習

9月13日 28人参加
会場・ふれあい福祉センター



⑤ 接遇・安全研修

9月12日 28人参加
会場・ふれあい福祉センター



高齢者生きがい

活動センター事業

さいたま市内の高齢者に対し、各種研修及び技術指導を行うことにより就労を支援します。高齢者の豊かな経験、知識及び技能を活用した地域活動を支援し、生きがい活動の場を提供することにより、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを促進するための事業です。

① パソコン

第1回 初めてのパソコン
7月21日～26日 18人参加

第2回 エクセル入門
8月3日～8日 20人参加

第3回 初めてのパソコン
8月22日～25日 12人参加



② 傾聴ボランティア養成講座

6月16日～7月7日
43人参加

③ 障子の張り替え研修

9月29日 14人参加



講習会・研修会のお申込みについて

各種講習会、研修会についてのご案内は、毎月発行している「会員ニュース」や「市報さいたま」に掲載されます。

お申込みについては、講習会や研修会ごとに内容や会場が異なりますので、それぞれ確認のうえ、掲載された申込み先までお願いいたします。

受講希望者が定員を超えた場合は抽選となりますが、就業に必要な技能と知識を身につけられますので、皆様の積極的な参加をお待ちしています。

就業会員の声

浦和会員の 斉藤 立雄さん

斉藤さんが入会されたのは、除草の仕事が好きだったのがきっかけとなり平成24年に入会。現在グループ長として活躍されておられます。前職は船に乗りインド洋中心にまぐろの運搬のお仕事、鉄工二次製品（屋根）の販売をされていました。定年後就活をハローワーク中心に実施。しかし、年齢的に適した仕事がなく、シルバー人材センターの会員となりました。除草の仕事は夏場が勝負。朝7時（発注者の了解を得て）から就業、午後2時～3時に終わらせる。ピーク時期は週5日。ただし雨の日は避ける。発注者の方が高齢の場合片付け（植木鉢、廃材等）の依頼もある。そのための道具は会員が揃えています。

グループは2～3名で就業。注意することは、交通事故、常に現場には余裕をもって出



発するように指導。次に道具による怪我、言葉使い等に注意しています。夏に作業が集中するため、熱中症には気を使います。それでも発注者の笑顔がすべて。余暇は山登り、秩父などの山歩き。また、ご家族からは外で活躍するように言われているのでご不満はないが、家庭サービスで温泉巡り、会員とラーメンの食べ歩き、ギター等、とにかく趣味多彩な斉藤さん。グループとして誰でも同じ気持ちで就業していくこと、それと草花について専門知識のある方が仲間に入っていたく事が希望です。

（取材・吉川編集委員）

与野会員の 中野 義一さん

中野さん（63才）は、40年間金融関係の仕事をしてから退職後一年間、自由気ままに過ごされていたせいか、腰痛や足がつるなど体調が優れなかったそうです。

その時、さいたま市報を見て「シルバー人材センター休日入会説明会」に参加され、昨年の5月に入会されました。

6月にはシルバーから除草作業のお話があり、仕事は、月に約10日、一日7～8時間程で二人一組になって無理のない作業をしています。先輩会員さんに親切丁寧に教えていただけるので特に不安はなく、また道具（植木鉢）などをいただくこともありますと話されていました。

仕事を始めてから数日は、朝起きるときなど筋肉痛で辛かったが、続けていくうち、今では腰痛や足がつるなどもなくなつて、ジムに通うより良いです。

重要なことは「無事故・安全」夏場は熱中症等にならないよう

「十分な自己管理」が必要。今までの机上の仕事と違い、無心になれる、そしてお客様の感謝の言葉に仕事をする喜びを感じるとお話しされた。



趣味は旅行とボウリング。旅行はシルバーの配分金等も貯め、奥様と世界一周クルーズ旅に行きたいとお話しされた。まわりを明るくさせるパワーをお持ちの方でした。

（取材・青島編集委員）

岩槻会員の 富田 徳夫さん

東岩槻駅から15分ほどにある諏訪公園で清掃業務をされている富田さんをお訪ねしました。お仕事は8時30分から5時30分のフルタイム。9人の会員が3組に分かれてシフトを組み、2日就業、4日休みの交代制です。

一日の流れは、はじめに公園内を見回り、ゴミ拾いや異常の有無を確認しながら重点作業場所を確認。昼休みを挟みながら重点作業や草取り、落ち葉拾い、トイレ清掃などを行い、終える前にも一度公園内を見回る。

シルバー会員になったのは63歳の時。定年退職して自由な時間を過ごしていたが、そのうち持て

余すようになり、

お兄さんからの体を動かす何かをした方が良くというアドバイスも入会のきっかけのひとこと。現在67歳。70代80代の多いシ



ルバー会員の中では、自分は「若者だ」と言われる。

入会して数か月で現在の仕事に就くことができた。夏は暑く、冬は寒い、また風や雨の日もありますが、現在の仕事が、ご自分に合っているとのこと。重機の使用や高所作業はないですが、時間帯を考えて作業を行い、熱中症などには十分に注意しているとのことお話をした。

入会したところは多少メタボ気味だったが、仕事と、家での毎日1時間のダンベル体操で体重が9kgも減り、現在も体調が良い。肌の色つやも「若者」らしくハリがありました。

休みの日には奥様と一緒に散歩したり、買い物に行ったりと、仕事でもご家庭でも、ご自分のペースで無理なくゆったりと過ごしてらっしゃる様子。こちらにもホッと優しい気持ちになる取材でした。

(取材・島村編集委員)

武蔵一宮氷川神社様

旧武蔵国を中心に、二百八十余社も分布する氷川神社の総本社、武蔵一宮氷川神社に、禰宜馬場直也様をお訪ねしました。

お話によると、神社の境内は約三万坪を擁し、氷川の森を形成しています。参拝者に清々しい気持ちでお参りしていただくため、神社には「場を清めて礼を正す」と言う言葉があるそうで、社殿や境内のあらゆる所の清掃に、職員をはじめ各種の奉仕団体の方々が心をこめて奉仕を行っています。

数年前シル

バー人材セン

ターに相談し、参道の清掃の仕事をやっていただくことになったとのこと。参道は、中山道から社殿へと続く並木十八町と呼ばれる櫟並木を誇っていますが、シ

発注者の声

ルバーの受持ち範囲は、社殿に一番近い二の鳥居から三の鳥居の間約五百メートルで、強雨の日以外は毎日の仕事です。

「シルバー会員の皆様は、年の功だけあって、参拝者や自転車、通学の子供達などの事故が起きないように気を遣っていることがうかがえますし、暑さ寒さの下での仕事ではあるものの、あたかも奉仕のような丁寧な仕事ぶりであると周囲の市民からも喜ばれています」と、お褒めの言葉をいただき、御暇しました。

(取材・後藤編集委員)



ワタナベストア 様

浦和区にある生鮮館。パワフル元町店を訪問、館長の小畑良則様に、午前中の業務多忙の中、お話しを伺いました。

シルバー人材センターについては、赴任してから知りました。発注の時期については四代前の館長が、自転車の整理をきっかけに発注し、平成14年から契約も長期となっております。主な仕事内容は、自転車、置きかご等の整理、移動と各案内板の展示です。

曜日によりシフトを変えての就業です。月水金土シフト、10時～

13時、14時～17時。火曜日シフト、11時～14時、16時～19時。日曜日シフト、朝市のため9時30分～12時30分、以上を3名でローテーション就業をしています。

会員の方は仕事内容をよく把握され、熱心に就業していただくとのお褒めの言葉をいただきました。不法駐輪などの問題に対しても注意文、貼り紙

等、積極的な提案をしてくれる。

社員さんと同等に就業意識が強く仕事に従事してくれまますので大変満足と話をされた。

不特定多数のお客様が来館されますが、過去トラブルもなく、傷害事故もない。

今後とも、社員、会員の健康にも留意しながら邁進していくと熱く語られた。

万一欠員が出たときの速やかな対応と定年後でも働ける人材のネットワークをもっと広げてほしいとのご要望もありました。

(取材・吉川編集委員)



品川 惣寿 様

「発注者の気持ちを大切に、仕事していただいております」と言われる品川さんは現在84才。以前、シルバーの会員を経てシルバー人材センターの理事をされていた。

この会報の創刊号や2号、記念誌にも編集委員として携わってくださった品川さんにご縁があり、取材をさせていただきました。

発注してくださる仕事は、平成22年頃から植木の剪定・除草・障子張・網戸張などです。

98歳の家族の介助などもあり、昨年暮れ頃から家事負担が大きくなった事で、月に一度2名の会員さんに午前9時～11時の家事援助サービス（ハウスキーピング）も頂戴している。2名の会員さんは自分の家のように丁寧に、気を配り掃除していただき、信頼関係があるので安心して仕事を任せられ、ありがたいと話されていた。

「シルバー人材センターは、信頼性も高く、発注者の気持ちを十分理解していただいているので安

心してお願ひできる。これからも続けてお願ひしたい」とお話しされた。



とてもお元気な方で、80才からパソコンを習い始め、今では地域の老人会の会報を写真入りで発行されています。

これからも地域に何らかのお役に立ちたいとも語られていた。

(取材・青島編集委員)

地域班活動

中央区 第二地域

地域長 岩瀬 忠

早いもので、地域長を拝命し、4か月が過ぎようとしています。

前任者の野本さんより「地域としての残りの事業計画を必ず実行してください」と引き継ぎを受け、現在計画に沿って実施しています。

中央区第二地域は5つの班からなり、現在144名の会員で活動をしています。

事業計画は、班長会議の他、地域会議と奉仕活動を年2回開催することです。

先日、今年度2回目の地域会議を開催しました。会議後は浦和西警察署より「高齢者の交通安全について」をテーマに、高齢者の交通事故の特徴（あじのひらき）や運転免許の自主返納（シルバー・サポーター制度）について話を伺いました。



また今年度最後の取り組みである奉仕活動を11月中旬に実施しました。

班長協力のもと、参加会員を増やそうと頑張っており、センターで働くことだけではなく、行事に参加することも楽しみになるような活動ができるといいと思います。一人でも多くの会員が地域活動へ積極的に参加し、地域に貢献できる地域班にできればと考えています。

岩槻区 第五地域

地域長 新井 進

岩槻区第五地域は、区の東南に位置し、東は越谷・東川口、南は埼玉スタジアムを境にして、内側全地域で農村が多く、面積の広いエリアで、現在の会員数は5班105名で活動しています。

班によつては、毎月のシルバー会員ニュース配布が、車で2時間以上と大きな仕事となっています。

年活動として、地域会議研修会2回、奉仕活動2回を予定し、今年度1回目の研修会を7月14日、岩槻事務所会議室で行いました。

センターの現況や安全就業について研修。終了後「生活習慣病の予防」というテーマで、私が講師となり生活習慣病改善のための説明をしました。

規則正しい生活、バランスのとれた食事、睡眠、手軽にできるリラクゼーションを日課にする、趣味やスポーツを楽しむ。



特に運動は高血圧、肥満の改善につながり、ストレスに強い心身をつくれます。大事な事は、年一度の健診を受け、異常を指摘された方は、必ず二次健診を受診するようにしてください。以上の研修内容でした。

奉仕活動として、10月26日地域内にある「槻の森文化公園」の清掃を会員15名の参加で行いました。地域班活動は、就業中の会員もおり、参加はむずかしい点もあります。全会員に呼びかけ無理なく活動に参加していただき人間関係を深められるように、地域班長を中心に努力していきたい。

親睦互助会

秋の小田原城と

ビール工場見学の旅

大宮支部 清水 修

大宮支部ふれあい会は、11月15日、会員50名が参加して、バス2台で小田原方面へ日帰り旅行を行いました。

前日の雨も朝方には上がり、集合時間頃には薄日さえ射してきました。

出発時刻を7時20分に早めて出発、桶川北本インターより圏央道に入り目的地を目指して走行。狭山方面では、

右に左とかすかに富士山を見ることができ感激でした。

狭山、厚木、鮎川のサービスエリアで一休み、大井松田インターよりアサヒビール小田原工場に到着。工場内をスタッフの案内でビールができる



までの説明を受け、出来たてのビールを3種類(ドライ、黒ビール、プレミアム)試飲して会員さんの類は薄らと赤くなっておりました。昼食は、敷地内のビアガーデンにて美味しい弁当をいただきゆっくり過ごし、小田原城に向かってバスを走らせました。

小田原城は、昨年まで、リニューアルの工事のため金網に囲まれていたとのこと。今年は金網も外れとても美しい天守閣を見ることができました。天守閣からは、曇空でしたが、房総半島や伊豆半島が見えました。

小田原蒲鉾で有名な「鈴廣」で買い物を楽しみ、帰路のバスの中はビンゴゲーム、懐かしい歌で和やかに過ごし、楽しい日帰り旅行ができました。

秋の日帰り旅行

岩槻支部 古暮 俊夫

親睦互助会岩槻支部「みどり会」は、9月14日(水)山梨県甲府方面の旅を行いました。

当日は台風の影響で出発時にパラパラと、雨がりましたが、参加者の心掛けの良さが反映したのか雨らしきものはこの時だけで、快適な旅行日となりました。

参加者は72名、バス2台で昇仙峡を目指して出発しました。

昼食は、名物のほうとう定食を食べ、次の見学地甲府の桔梗屋で、信玄餅の製造工程を見たあとお土産を買い、メインのぶどう狩り、御坂農園グレイプハウスに向かいました。食べ放題ということで意気込んだのですが、マスカットベリーという粒の大きなぶどうで、一房食べるのが大変。

女性たちは半分位食べて



ギブアップという状態で、皆満腹で満足したぶどう狩りでした。

旅の最後は、ワイン工場で製造工程を女性ガイドの説明を聞きながら見学。試飲コーナーで美味しいワインを飲み、自分の好みに合ったワインを購入し、ホロ酔い気分、帰途のバスは話もはずみ、親睦と交流が深まった旅でした。

秋の日帰り旅行

浦和支部 鈴木 英俊

浦和支部は10月18日(火)と10月27日(木)の2回に分け「群馬吹割の滝とリンゴ狩り、酒蔵見学の旅」に行きました。参加者は両日共41名、合計82名でした。

吹割の滝は、別名「東洋のナイヤガラ」とも呼ばれています。また、酒蔵の「誉れ国光」はフランスのモンドセレクション金賞を受賞している有名な酒蔵です。

集合場所である玉蔵院隣の中央公園を7時45分に予定通り出発、

圏央道と関越道を通り向かいました。車中ではビールとつまみが配られ、少しほんのり気分になりました。上里SAで休憩、それから吹割りの滝に到着。天気が良い強い秋の日差しの中、汗をかきながら見学しました。評判通り水の落ちるさまは豪快でした。少し通路が濡れていて危険でしたが、滝に落ちることなく、無事見



学することができました。

酒蔵「誉れ国光」を訪れました。

飲み放題の日本酒の試飲を、皆様楽しまれた。昼食は、「誉れ国光」で炊き込みご飯、てんぷら、茶わん蒸しを美味しくいただきました。

昼食後、関東有数の道の駅「道の駅田園プラザかわば」を訪れました。広大な敷地に色々な設備があり、見学、買い物をしました。

旅の最後に「原田農園」でリンゴ狩りを行い、食べ放題で皆様腹一杯甘いリンゴを食べました。帰りの車中では、カラオケで盛り上がりました。

予定通りの時間に中央公園に全員無事帰着しました。

両日共、天候に恵まれ、紅葉は少々早かったですが、最高の旅行ができました。

与野支部の活動状況

与野支部 山内 忠義

平成28年5月の与野支部定期総会後の役員会において、突然支部長就任の要請があり、熟慮の末受けることにしました。

親睦互助会の支部長として最初に取り組んだのは、「支部長の業務」を分解して役員の全員参画による支部運営の活性化であります。

具体的には、二人の副支部長は「業務担当」と「会計担当」とし、各役員には「旅行担当」と「新年会担当」等、それぞれONESTOPで物事が処理できるようにしました。

例年開催される「中央区民まつり」は、親睦互助会として「区民まつり実行委員会」から参画しています。当日はセンターのPRと手芸・バザー品の販売に役員全員が参加し、二日間成功裏に終了しました。

秋の旅は11月13日に、「旅行担当」の二人の役員が素晴らしいパンフレットを作成し、河口湖か

らロープウェイでカチカチ山に登り、富士山を仰ぎ見ました。我々を歓迎するかのよう、快晴で雲ひとつなく、冠雪の富士山は絶景で、厳かで最高の素晴らしさでした。



親睦互助会連合会の会長は、今年から2年間与野支部長が担当です。センター本部として親睦互助会に何を期待しているか、連携をとりながら、連合会で検討し、親睦互助会の活性化を図りたいと考えております。

区民まつりの参加活動

各区民まつりに参加し、パネル展示やリーフレットの配布、手芸品の販売をしました



会員ボランティア参加活動



ふれあい教室 猿花ディキャンプ
青少年との交流事業として
カレーライスや豚汁をつくりました



傾聴ボランティア活動
地域の良き話し相手、高齢者等との
ふれあい、寄り添う活動です

安全委員会より

平成28年6月23日の平成28年度定時総会で報告いたしました「公益社団法人さいたま市シルバー人材センター事故取扱基準」（以下「事故取扱基準」と表記）が平成29年4月より施行されます。

「事故取扱基準」を設けました目的は、

1. 全員参画による就業事故の撲滅（安全就業の推進）
2. 事故発生の速やかな対応と処置
3. 処分することが本意ではなく、基準の明示と周知により全会員が注目し、事故の未然防止に努めていただく

ことです。

安全委員会では、施行に向け、守っていただきたい「作業別安全就業基準」の整備や、安全に対する各人の心がけと良い習慣づくり（※誠実 ※丁寧 ※少しの余裕 ※事前の注意力 ※確認する習慣 ※冷静な判断 等）を現場で発揮していただくため「安全の日」創設や安全パトロール強化を検討しております。

年度末に向け情報発信いたしますので宜しくお願いいたします。

事故の未然防止は不断の心がけと良い習慣づくりです

事故の未然防止・再発防止に努めましょう！



いきいきセカンドステージ

11月9日（水）、浦和コミュニティセンターで「いきいきセカンドステージ」が開催されました。

このイベントは、社会経験豊かな高齢者が生涯にわたって社会参加できる機会の確保を図るため、シニアユニバーシティとシルバーバンク、そして、シルバー人材センターの三者が連携して実施する、シニアの社会参加イベントです。

当センターは、第6集会室において、シルバーバンクとシルバー人材センターの活動について、パネル展示を行いました。第14集会室では、センターの活動内容を皆さんにより知ってもらうために、



パソコングループ会員が中心となつた、パソコン講習体験や傾聴ボランティア

グループ「あゆみ」の会員によるグループ傾聴のデモンストレーションを行いました。



また、就業相談コーナーでは、個別に相談を受け、現在の状況を説明し、入会説明会への参加予約

をしてもらい、会員獲得にも努めました。



会場内では、シルバー人材センターについてよくわかるDVDを常時放映し、来場者には手芸班による手づくりアクリルたわしのプレゼント、さらにコーヒーマチや表茶の無料サービスも行い、多くの来場者がありました。

このイベントは初の試みでありましたが、多くの会員に協力をいただき、シルバー人材センターのPRを図ることができ、有意義な日となりました。

表紙

「埼玉スタジアム2002」

緑区中野田にある埼玉スタジアム2002は、アジア最大級・日本で最大のサッカースタジアムです。

ワールドカップなどの国際試合も開かれる、世界でも有名なスタジアムとなっています。

編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年はオリンピックやノーベル賞受賞など、日本は大活躍で話題の多い年でした。

会報31号も会員の方々及び発注者の皆様にご協力いただき、発行することができました。

編集委員も会員の活躍や話題提供をしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

（編集委員会）